



Japanese Congress
for Infrastructure Management

Fact Book

2025-2026

インフラメンテナンス国民会議
ファクトブック

インフラメンテナンス国民会議ホームページ

インフラメンテナンス国民会議 検索



インフラメンテナンス国民会議(JCIM)事務局

hqt-jcim-sogo@gxb.mlit.go.jp

2026年4月発行



インフラメンテナンス国民会議

インフラメンテナンス国民会議とは

インフラは豊かな国民生活、社会経済を支える基盤です。老朽化するインフラが急増するなかで、施設管理者は限られた予算のなかで対応しなければなりません。そのため、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保する必要があります。

また、豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要なものです。

そこで、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的に平成28年11月に「インフラメンテナンス国民会議」は設立しました。

INDEX

インフラメンテナンス国民会議について	01
沿革	01
活動の拡がり	02
推進体制	03

主要な活動	
令和7年度 インフラメンテナンス国民会議総会	07
社会インフラテック2025	09
常識に縛られるな！群マネは、自由だ！	10
海外市場展開フォーラムの取り組みと海外展開事例紹介	11
高専生が経営トップに聞くインフラメンテナンス第3弾	12

インフラメンテナンス国民会議の目的

- 1 革新的技術の発掘と社会実装
- 2 企業等の連携の促進
- 3 地方自治体への支援
- 4 インフラメンテナンスの理念の普及
- 5 インフラメンテナンスへの市民参画の推進

Fact
Book
2025-2026

インフラメンテナンス市区町村長会議	13	公認フォーラム		北陸インフラメンテナンスフォーラム	44
北海道ブロック	14	革新的技術フォーラム	25	中部フォーラム	45
東北ブロック	15	自治体支援フォーラム	26	近畿本部フォーラム	48
関東ブロック	16	技術者育成フォーラム	27	「ちゅうごく」(中国フォーラム)	58
北陸ブロック	17	市民参画フォーラム	32	四国地方フォーラム	68
中部ブロック	18	海外市場展開フォーラム	35	九州フォーラム	77
近畿ブロック	19	公認フォーラム(地方フォーラム)		沖縄フォーラム	82
中国ブロック	21	北海道フォーラム	36	第9回インフラメンテナンス大賞	83
四国ブロック	23	東北フォーラム	38		
九州・沖縄ブロック	24	関東フォーラム	41		



インフラメンテナンス国民会議について

沿革

平成24年	7月25日	国土交通大臣から社会資本整備審議会会長及び交通政策審議会会長あて「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の諮問
	7月31日	第9回社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会（以下 技術部会）・社会資本メンテナンス戦略小委員会の設置
	12月2日	中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故
平成25年		「社会資本メンテナンス元年」として位置付け
	1月21日	社会資本の老朽化対策会議 設置
	1月30日	社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言
		「本格的なメンテナンス時代に向けたインフラ政策の総合的な充実～キックオフ「メンテナンス政策元年」～」(大臣への手交)
	3月21日	社会資本の老朽化対策会議
		・「社会資本の維持管理・更新について当面講ずべき措置」決定
	5月30日	「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」中間答申(大臣への手交)
	10月4日 11月29日	インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議 設置 インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議
平成26年	12月25日	・「インフラ長寿命化基本計画」決定 「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」答申
	5月21日	社会資本の老朽化対策会議 ・「国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)」決定
平成27年	2月27日	技術部会「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」提言
		・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置 等提言
	6月30日	「日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-」閣議決定
		・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立 位置付け
	11月27日～ 12月16日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた意見交換会(第1回)の実施 ・約80の企業・団体から意見をヒアリング
平成28年	4月15日～ 4月27日	インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた意見交換会(第2回)の実施
		・国民会議の青写真をもとに約70の企業・団体と意見交換
	6月2日	「日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-」閣議決定
		・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置 位置付け
	7月29日	政務官勉強会提言
		・「インフラメンテナン스의加速化」提言
	6月2日～ 9月29日	・インフラメンテナンス国民会議(仮称)の創設 位置付け インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設立に向けた準備会の実施
平成29年		・国民会議の運営に参加したい企業・団体と、具体的な組織や実施事項について検討開始
		・各種部会、フォーラム準備会により、検討内容、進め方等について議論(延べ11回開催)
	11月28日	インフラメンテナンス国民会議設立
	7月24日	平成29年度インフラメンテナンス国民会議総会(第1回インフラメンテナンス大賞表彰式と同日開催)
平成30年	4月 8月9日 12月6日	全国10地域で地方フォーラムが設立 第2回インフラメンテナンス大賞表彰式 平成30年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2018開会式と同日開催)
令和元年	11月7日 12月4日	第3回インフラメンテナンス大賞表彰式開催 令和元年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2019ステージにて開催)
令和3年	1月8日	第4回インフラメンテナンス大賞表彰式開催
	12月8日	令和2年度インフラメンテナンス国民会議総会(メール開催) 令和3年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2021ステージにて開催)
令和4年	1月21日 4月28日 12月7日	第5回インフラメンテナンス大賞表彰式開催 インフラメンテナンス市区町村長会議設立 令和4年度インフラメンテナンス国民会議総会(社会インフラテック2022 ステージにて開催)

推進体制

国民会議の活動については、国民会議の趣旨に賛同し活動に意欲のある企業、研究機関、施設管理者、市民団体等の会員にメリットのある活動を会員の主体的な運営により行うこととし、会員により構成される実行委員会、各部会、各フォーラム企画委員会を設け、運営を行います。

総会 国民会議 会員(令和8年4月1日現在) 3,393者(企業1,177、行政1,568、団体195、個人453)

会長

家田 仁
政策研究大学院大学
特別教授

副会長

秋池 玲子
ポストンコンサルティンググループ
日本共同代表

副会長

植野 芳彦
富山市
政策アドバイザー

参与

岩城 一郎
日本大学
教授

相談役

富山 和彦
株式会社IGPIグループ 会長
株式会社日本共創プラットフォーム
代表取締役社長

実行委員会 国民会議全体の運営

■実行委員長 大島 邦彦 (株)アイ・トランスポート・ラボ

■実行委員

阿部 雅人
(株)ベシスコンサルティング

岩佐 宏一
(公社)日本ファシリティマネジメント協会

大堀 正人
(株)日立ソリューションズ

奥田 早希子
(一社) Water-n

片岡 信之
(一社)国土政策研究会

笹谷 達也
日本ヒューム(株)

沢田 和秀
岐阜大学

鈴木 泉
社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

高山 保
(株)土木管理総合試験所

田村 裕美
(一社)ソーシャルテクニカ

永田 善裕
リノブリッジ(株)

中谷 孔右
(株)エコワーク

羽鳥 徹
富士フイルムビジネスイノベーション(株)

平野 圭
(株)クリエート

藤原 鉄朗
(一社)建設コンサルタンツ協会

森尾 宣紀
長崎市

山田 真寛
パシフィックコンサルタンツ(株)

吉田 典明
日本工営都市空間(株)

企画部会 インフラメンテナンスに関する企画等

■部会長
橋本 裕樹 国土交通省

■幹事
早川 哲史 国土交通省
吉田 典明 日本工営(株)

■部会委員

大島 邦彦 (株)アイ・トランスポート・ラボ

奥田 早希子 (一社) Water-n

片岡 信之 (一社) 国土政策研究会

日本ヒューム(株)

笹谷 達也 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

鈴木 泉

高山 保 (株)土木管理総合試験所

田村 裕美 (一社) ソーシャルテクニカ

永田 善裕 リノブリッジ(株)

中谷 孔右 (株)エコワーク

森尾 宣紀 長崎市

山田 真寛 パシフィックコンサルタンツ(株)

祢津 知広 国土交通省

坂田 亨 国土交通省

飯島 智典 国土交通省

藤井 大地 国土交通省

広報部会 インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報

■部会長
永田 善裕 リノブリッジ(株)

■幹事
小林 大 大日本ダイヤコンサルタント(株)
那珂 通大 ニチレキ(株)

■部会委員

奥田 早希子 (一社) Water-n

大野 真菜 三菱ケミカルインフラテック(株)

飯島 智典 国土交通省

藤井 大地 国土交通省

インフラメンテナンス市区町村長会議

●首長同士の意見交換による知見や意識の向上

●社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発

●トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進

1
ブ北海道

2
ブ東北

3
ブ関東

4
ブ北陸

5
ブ中部

6
ブ近畿

7
ブ中国

8
ブ四国

9
ブ九州・沖縄

詳細は5・6ページ参照

公認フォーラム

革新的技術フォーラム

オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング

■リーダー

インフラメンテナンス市区町村長会議

■代表幹事 東京都稲城市長 高橋 勝浩

1 北海道ブロック

■ブロック幹事

北海道 稚内市長 工藤 広

■企画委員

北海道 札幌市長 秋元 克広

北海道 函館市長 大泉 潤

北海道 旭川市長 今津 寛介

北海道 釧路市長 鶴間 秀典

北海道 帯広市長 上野 庸介

北海道 網走市長 水谷 洋一

北海道 留萌市長 益田 克己

北海道 稚内市長 工藤 広

北海道 倶知安町長 文字 一志

北海道 白老町長 大塩 英男

2 東北ブロック

■ブロック幹事

岩手県 宮古市長 中村 尚道

■企画委員

青森県 八戸市長 熊谷 雄一

岩手県 宮古市長 中村 尚道

宮城県 白石市長 山田 裕一

秋田県 秋田市長 沼谷 純

山形県 山形市長 佐藤 孝弘

福島県 南相馬市長 門馬 和夫

3 関東ブロック

■ブロック幹事

東京都 稲城市長 高橋 勝浩

■企画委員

茨城県 龍ヶ崎市長 萩原 勇

栃木県 下野市長 坂村 哲也

群馬県 安中市長 岩井 均

埼玉県 春日部市長 岩谷 一弘

千葉県 木更津市長 渡辺 芳邦

東京都 稲城市長 高橋 勝浩

神奈川県 厚木市長 山口 貴裕

山梨県 甲府市長 樋口 雄一

長野県 大町市長 牛越 徹

4 北陸ブロック

■ブロック幹事

石川県 かほく市長 油野 和一郎

■企画委員

新潟県 新潟市長 中原 八一

富山県 氷見市長 菊地 正寛

石川県 かほく市長 油野 和一郎

令和7年度インフラメンテナンス国民会議総会

インフラメンテナンス国民会議は、我が国の全てのインフラメンテナンスの円滑な実施を目標とし、それを支援するために必要な産学官民のプラットフォームを運営するとともに、インフラメンテナンスの円滑な実現に向け必要な事業を行っています。



加藤 竜祥氏
(国土交通大臣政務官)



大島 邦彦氏
(国民会議実行委員長)

安全・安心に暮らせる社会基盤をつくるため 今後もより活発な議論を



富山 和彦
インフラメンテナンス
国民会議 会長

インフラメンテナンス国民会議は10年目に入って活動が大きく広がっており、改めて御礼申し上げたい。
インフラメンテナンスの重要性というのは浸透してきているように思われる一方で、人口減少が進んでおり、特に地方においては甚だしい状況である。この先、国民が安全かつ安心して過ごせるような社会基盤をどのように作っていくかが国家的に大きな課題になってきていると感じており、その最先端で頑張っているのが、インフラメンテナンスを担う市区町村の皆様だと思う。次の10年は、本格的かつ厳しい、国民生活を守る戦いが続いていると思うので、皆様にはこの国民会議をより活発にしていきたい。

新たな体制でインフラマネジメントを戦略的に推進



家田 仁
インフラメンテナンス
国民会議 副会長

インフラはメンテナンスからマネジメントを戦略的に進める方向に変わっていく。メンテナンスという言葉は維持してる印象だが、マネジメントはものによって増やしたり、減らしていくダイナミズムを含めた言葉である。
次の副会長2名は私ができないところを得意としている方々のため、大きなマーケットであるインフラマネジメントを担うビジネス体制を構築する糸口を作ること、また、現場の人々が何に困り、不満を持ってるのか、どんな希望を持ち、生きがいを感じているのを把握していくことを期待しており、今後、国民会議がまた一味違った進化を遂げられると感じる。引き続き、皆様方のご協力、ご支援をいただきたい

海外市場展開フォーラムの取り組みと海外展開事例紹介

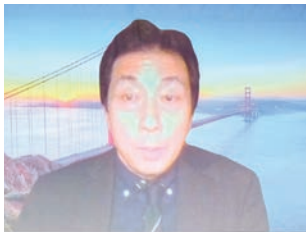
インフラシステムの海外展開について、国民会議海外市場展開フォーラムの取組紹介をはじめ、アメリカ、インドなど各国で事業展開を進めている国内企業の担当者による事例紹介を実施しました。



海外展開事例紹介の様子



館 健一郎氏
(国土交通省
総合政策局海外プロジェクト推進課
国際建設管理官)



松本 正人氏
(NEXCO-West USA President and CEO)



小林 史治氏
(ショーボンド建設株式会社
海外事業部課長)

日時 令和7年12月12日(金) 10:30~12:00
場所 東京ビッグサイト東4ホールカンファレンスステージ
プログラム 「海外市場展開フォーラムの取り組み」
館 健一郎(国土交通省 総合政策局海外プロジェクト推進課 国際建設管理官)
「米国におけるインフラ技術での事業展開」
松本 正人(NEXCO-West USA President and CEO)
「インド橋梁補修試験施工と海外展開の展望」
小林 史治(ショーボンド建設株式会社 海外事業部課長)

高専生が経営トップに聞くインフラメンテナンス第4弾

空のインフラを担う経営者と「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」に出場した地域の未来を担う学生が、地方と都市の格差などの課題について意見を交わし、インフラのあり方や将来像を描きながら、今後の展開を探りました。



意見交換の様子



小又 寛也氏
(インフラマネジメント
テクノロジーコンテスト
マーケティング部会長)



北陸ブロック

北陸ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議

インフラメンテナンスの重要性・現状課題について共有し、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて、トップダウンにより力強く推進していくことを目的としております。

今回の会議ではまず、氷見市ふるさと整備課長より、北陸ブロック市区町村長会議の概要や国民会議の加入状況について説明をいただきました。

講演では、国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課の森下課長より「国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組について」講演をいただきました。

また、北陸インフラメンテナンスフォーラム富山・石川ブロックリーダーの宮里氏より、「市町村のインフラメンテナンスの現状と北陸SIPの取組について」ご講演いただきました。

意見交換では、構成員より各自治体のインフラメンテナンスの取組や、課題についてご発言いただき、活発な意見交換となりました。

引き続き、インフラメンテナンスの重要性・現状課題について共有し、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて市区町村長会議参画自治体の横の連携、各県との縦連携が進められるよう調整していきます。

- 日時** 令和7年6月30日(月) 13:00~14:30
場所 氷見市役所 全員協議会室
参加者 45市町村
プログラム **開会挨拶**
菊地 正寛(北陸ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議 幹事／氷見市長)
祝辞
森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長)
北陸ブロック市区町村長会議 概要説明
河端 良之(氷見市 建設部 ふるさと整備課 課長)
講演
・国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組について
森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長)
・市町村のインフラメンテナンスの現状と北陸SIPの取組について
宮里 心一(金沢工業大学 工学部 教授)
(北陸インフラメンテナンスフォーラム富山・石川ブロックリーダー)
意見交換(質疑・応答)
その他
閉会挨拶
油野 和一郎(北陸ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議 企画委員／かほく市長)



開会挨拶(菊地氷見市長)



閉会挨拶(油野かほく市長)



講演(宮里 心一氏)



来賓、企画委員及び構成員による記念撮影

中部ブロック

インフラメンテナンス市区町村長会議 中部ブロック会議

インフラメンテナンス市区町村長会議中部ブロック会議は、公益社団法人土木学会中部支部と連携して、中部ブロック会議を愛知県

中国ブロック

インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック会議

インフラの老朽化という課題に対して、地方自治体の首長によるトップダウンでインフラメンテナンスを強力に推進することを目的として、「インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック会議」を開催しました。

基調講演では、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課の森下課長より国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組、松江高専の大屋教授より、デジタル・AIを用いたインフラ維持管理の未来について、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の藤井リーダーより「ちゅうごく」による取組の紹介があり、インフラメンテナンスに関する最新の動向について共有しました。

意見発表では「予防保全への転換（建設業の担い手育成に係る課題と取組）」をテーマに各県が実施している若手技術者確保・人材育成・業務効率化の取組について企画委員が発表を行いました。

コーディネーターの土木学会西山教授より、DXやAI等を積極的に取り入れている企業は若手技術者から人気があり、離職率も低いため自治体参考にとの助言をいただきました。

改めて本会議の目的に立ち返り、地域の将来像を見据えたインフラのマネジメントを首長のイニシアティブにより効率的かつ強力に推進し、魅力ある地域社会の実現を目指して行くことを確認しました。

日時 令和7年10月2日(木) 13:30～17:00
場所 島根県芸術文化センター「グラントワ」小ホール
参加者 会場参加162名、web参加79名
プログラム 開会挨拶

山本 浩章(中国ブロック企画委員、益田市長)

来賓祝辞

森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長)

杉中 洋一(国土交通省 中国地方整備局 局長)

基調講演

①国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組について

森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長)

②インフラ維持管理の未来－デジタルとAIが拓く新潮流－

大屋 誠(松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」取組・活動紹介

藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

特別講演－インフラマネジメントへの時代転換－

家田 仁(インフラメンテナンス国民会議 副会長)

意見発表

近畿本部フォーラム

（平成28年12月15日に設立）「近畿本部フォーラム2025」は、関係各位のご支援により、二日間で来場者10,994名を迎え、盛大に開催することができました。

「情報ワーキンググループ」では、令和8年3月末までに第13回フォーラムおよび第11回ピッチイベントを開催するとともに、第30回および第31回の実証実験を実施しました。加えて、十津川村、本州四国連絡高速道路株式会社および近畿本部フォーラムが締結した「人道吊橋メンテナンス技術相互協力協定」に基づき実施された「猿飼橋」の再生に貢献しました。

また、「包括的民間委託等の導入推進ワーキンググループ」では、大阪府下の自治体職員を対象とした「地域インフラの持続的な維持管理を考える会」について第7回および第8回を開催したほか、国土交通省のハンズオン支援事業へのアドバイザー派遣を行いました。さらに、新たに大阪府および公益財団法人大阪府都市整備推進センターと連携し、近畿地方整備局の参加も得て、大阪府下の市町村職員を対象とした「地域連携プラットフォーム勉強会」を大阪府の各土木事務所単位で合計9回開催するなど、実りある活動を展開することができました。



リーダー 片岡 信之
一般社団法人 国土政策研究会 理事
兼 関西支部事務局長

01 近畿本部フォーラム2025

「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム2025」は、多くの方にインフラメンテナンスについて考えていただくきっかけを作り、産学官民が一丸となってインフラメンテンスに取り組む社会の実現を目指し、民間企業・団体によるインフラメンテナンスに関する技術の紹介や建機・先進技術のデモンストレーションなどを行う展示会です。技術展示を行う一方で、インフラメンテナンス・建設業界の知識共有の活性化の一環として、専門家による講演やシンポジウムなども開催しました。

昨今の人手不足がインフラメンテナンス業界でも問題になっていることから、近隣の大学・高等専門学校の学生への来場依頼、小・中学生向けのチラシ配布を行うなど、学生の動員施策を実施しました。来場した学生には、学生対応可能な企業ブースで就職や業界について現場の方々と直接対話する機会を提供しました。また、未就学児・小学生の来場も見られ、先進技術の実演や体験型展示を通じて、インフラメンテナンス分野への興味・関心の喚起につながりました。

今後は、大学等と連携した更なる学生の動員と、リクルートに特化した企画の充実を図り、学生のキャリア形成と企業のリクルート活動を後押しすることで、インフラメンテナンス業界の未来の担い手確保の一助となるよう運営していきます。

日時 令和7年5月22日（木）10:00～

09 包括的民間委託等の導入推進ワーキンググループ
【シンポジウム】インフラメンテナンスにおける自立的な自治体支援を考える

今日大きな社会的課題となっていますインフラの持続的な維持管理については、人材や財源の確保、実践的取り組み方法と支援制度など多くの検討課題があります。本シンポジウムでは自治体の自立的取り組みへの支援を取り上げ、国をはじめ関係機関の方々からご提案や意見をいただき検討を深めました。

日時 令和7年10月31日(金) 14:00～17:00
場所 インテックス大阪 6号館 5階 ホールH
参加者 地方公共団体の職員等
プログラム **基調講演**
「国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組について」
森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長)
「県・全市町村連携型の官民出資会社ONE・AQITAの仕組みと官民融合効果」
服部 貴彦(株式会社ONE・AQITA(ワン・アキタ)経営戦略室長)
パネルディスカッション
「包括的民間委託時代における自治体技術者の役割と、その自立的支援組織について考える」
●コーディネーター
佐藤 道彦(大阪公立大学大学院 都市経営研究科 特任教授)
●パネリスト
森下 博之(国土交通省 公共事業企画調整課長)
服部 貴彦(株式会社ONE・AQITA 経営戦略室長)
七野 司(貝塚市 総合政策部 公共施設マネジメント室長)
宮崎 勝敏(公益財団法人大阪府都市整備推進センター 都市整備事業部長)



パネルディスカッションの様子①



パネルディスカッションの様子②



パネルディスカッションの様子③

10 包括的民間委託等の導入推進ワーキンググループ
第8回地域インフラの持続的な維持管理を考える会開催

地域インフラの持続的な維持管理に関心のある産官学有志の方々が共に学び、意見交換できる場として開催しました。

日時 令和7年10月31日(金) 17:00～
場所 インテックス大阪 6号館 5階 ホールH
参加者 大学:1名(大阪公立大学大学院) 行政(地方自治体等):14名(10団体)
民間企業等:4名(3社・団体) 事務局:3名(一般社団法人国土政策研究会)
国土交通省:3名(本省・近畿地方整備局) 包括的民間委託等の導入推進WG長:1名
情報WG長:1名 フォーラムリーダー:1名
出席者合計28名
プログラム 意見交換の実施

11 情報ワーキンググループ
第11回ピッチイベント開催

令和7年10月3日に開催した、第13回フォーラムで討

04 インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック会議の後援

インフラの老朽化という課題に対して地方自治体の首長によるトップダウンでインフラメンテナンスを強力に推進することを目的とする「インフラメンテナンス市区町村長会議中国ブロック会議」を国土交通省中国地方整備局とともに後援したものであり、藤井堅フォーラムリーダーが「ちゅうごく」の取組と活動を紹介する講演を行いました。

日時 令和7年10月2日(木) 13:30~17:00
場所 島根県芸術文化センター「グラントウ」小ホール
参加者 16名(内訳:企画委員会10名、実行委員2名、中国地方整備局4名)
プログラム **開会の挨拶**

山本 浩章(中国ブロック企画委員、益田市長)

来賓祝辞

森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長)

杉中 洋一(国土交通省 中国地方整備局 局長)

基調講演

①国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組について

森下 博之(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長)

②インフラ維持管理の未来ーデジタルとAIが拓く新潮流ー

大屋 誠(松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」取組・活動紹介

藤井 堅(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー)

特別講演ーインフラマネジメントへの時代転換ー

家田 仁(インフラメンテナンス国民会議 副会長)

意見発表

テーマ:予防保全への転換について(建設業の担い手育成に係る課題と取組)

●企画委員

総社市長、鳥取市長、周南市副市長、呉市副

09 第16回ピッチイベント

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者等が課題解決に繋がる技術等を紹介する第16回ピッチイベント(技術提案会)を実施しました。

ピッチイベントでは、「路面性状調査」、「公園の遊具・四阿の画一的な点検技術の確立及び点検の省力化」、「上水道の地中可視化技術」など5つの課題に対し、民間事業者延べ6社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対して施設管理者から積極的な質疑(施工条件、価格等)等、意見交換が行われました。

日時 令和7年11月14日(金) 13:30~16:20
場所 復建調査設計株式会社 別館大会議室、オンライン併用
参加者 49名(内訳:ニーズ提供者11名、シーズ提供者8名、企画委員会9名、中国地方整備局4名、傍聴参加者17名)
プログラム **開会の挨拶**

宮本文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンバー)

ピッチイベントにおける留意事項

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

プレゼンテーション

自社製品やサービスの紹介希望者(全6社)

講評

宮本文穂(インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンバー)

閉会の挨拶

守山 和彦(国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官)



プレゼンテーションの様子



プレゼンテーションでの質疑応答の様子



守山和彦事業調整官による閉会の挨拶の様子

10 第19回実証試験

自治体(施設管理者)が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を実施しました。

「ちゅうごく」（中国フォーラム）

13 第22回実証試験

自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を実施しました。

第22回実証試験では、第12回ピッチイベントで取り上げたニーズのひとつである広島県の「雨天時浸入水の原因箇所特定技術の開発」という課題に対し、株式会社福山コンサルタント・株式会社東京設計事務所が有する「AI解析を用いた流末流量予測により分流式下水道の雨天時浸入水が多い地区の絞り込みを行う技術」による解析結果を検証しました。

日時	令和8年3月2日（月）13:00～16:00
場所	オンライン形式
参加者	44名（内訳：ニーズ提供者2名、シーズ提供者10名、企画委員会13名、実行委員1名、中国地方整備局4名、傍聴参加者14名）
プログラム	開会の挨拶 藤井 堅（インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー） ニーズ提供者の挨拶 上田 恒三（広島県 上下水道部 流域下水道課 主査） シーズ提供者の挨拶 宮村 正樹（株式会社福山コンサルタント インフラメンテナンス事業部 執行役員 事業部次長） シーズ提供者による技術概要と解析結果の説明 青島 亘佐（株式会社福山コンサルタント 開発統括部 新領域推進室 主幹） ニーズ提供者の感想 勝谷 智樹（広島県 上下水道部 流域下水道課 主任） 講評 宮本 文穂（インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」メンター） 閉会の挨拶 守山 和彦（国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官）



ニーズ提供者による挨拶の様子



シーズ提供者による挨拶の様子



質疑応答の様子

四国地方フォーラム

インフラメンテナンス国民会議「四国地方フォーラム」は、四国地方4県の自治体及び建設コンサルタントが主体となり、平成29年12月26日に設立されました。地方自治体の課題に対し、民間企業が解決策となる技術を提案し、議論を深めて支援していきます。

リーダー 矢田部 龍一
愛媛大学 名誉教授

